

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	生き生きいくさか農業所得向上応援プログラム事業
事業主体 (連絡先)	生坂村 東筑摩郡生坂村5493番地2
事業区分	(6)イ 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,177,208円 (うち支援金: 3,244,000円)

事業内容

生坂村の基幹産業は農業であり、ぶどうを中心にお米、野菜、干し柿、山菜やきのこ類など幅広い農産物栽培が行われている。しかしながら、露地栽培では栽培期間が限られており、冬季間の農産物栽培が課題とされていたことから、村内集落営農組織や地元住民団体への貸し付けを行ない、一年を通して農産物栽培及び出荷ができる体制を整えるとともに、土壌診断や栽培講習会による農業に関する知識の向上、住民主体のイベント開催による意識向上、継続的なPRにより農産物販売促進を図り、更なる農業所得の安定、向上を図る。



【栽培講習会の様子】

【目標・ねらい】

- ① 通年農産物栽培及び出荷が可能な資機材及び体制の整備
- ② 土壌に関する基礎知識の向上及び各地区にあった農産物の研究
- ③ 住民の意識向上
- ④ 更なる農業所得の安定、向上

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 集落営農組織や地元住民団体に対して募集をかけたところ2組織から応募があり、ビニールハウスの設置及び貸し付けを行なった。
- ② 土壌診断は毎月実施し、都度、報告会を開催した。各圃場の土壌の分析結果を参画団体等で共有することにより、失敗例も含めて農業者の糧とした。また、県農業農村支援センターの協力を得て、対象圃場に適した農産物の検討、試験栽培、研究を行ない、効率的な農業の推進を図った。
- ③ 道の駅いくさかの郷において住民主体のイベントを毎月開催することで来場者の増加及び農産物の販売促進に繋がるとともに住民の意識の向上に繋がった。
- ④ テレビ等メディアを活用したPRにより農産物の販売促進が図られ、更なる農業所得の安定、向上に繋がった。

※自己評価【A】

【理由】

通年農産物栽培及び出荷が可能な資機材及び体制の整備を行なうとともに住民主体のイベント開催、テレビ等メディアを活用したPRを行なうことにより話題性に繋がり、目標を大きく上回る農産物直売所の売上を達成できたため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

「生坂村まち・ひと・しごと総合戦略」及び「生坂村第6次総合計画」に沿い、全ての季節において地元農産物を道の駅いくさかの郷農産物直売所で販売するため、参画団体及び生坂村農林水産物生産者組合を中心に出荷者の増加と生産量の拡大、農業所得の向上を図り、農業振興と産業振興の活性化を推進する。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある